

手指用ジェルについて - 「医薬部外品」と「化粧品」の違い -

手指用ジェルには今回テスト対象とした医薬部外品に該当するもののほか、化粧品に該当するものもあります。

医薬部外品である手指用ジェルは、エタノールやベンザルコニウム塩化物等の有効成分を含み、「手指・皮ふの洗浄・消毒」等の承認された効能効果が表示できます。

一方、化粧品である手指用ジェルは「肌荒れを防ぐ」、「皮膚にうるおいを与える」などの目的で使用されるものです。

「消毒」について

日本薬局方参考情報^{*}において、「消毒」とは、「一般的には、病原菌など有害な微生物を除去、死滅、無害化することであり、本参考情報では、対象物または対象物の表面等の局所的な部位に生存する微生物を減少させることを指す。」と定義されています。

必ずしも、対象物に生存する微生物を全て死滅させたり、除去するものではありません。

^{*}第十七改正日本薬局方参考情報 消毒法及び除染法

テストした 品目は

静岡市内のドラッグストア、ホームセンター等で販売されていた医薬部外品5銘柄です。

No.	内容量	購入価格	有効成分および分量
1	300mL	740 円	エタノール 76.9～81.4vol%
2	300mL	798 円	エタノール 76.9～81.4vol%
3	300mL	536 円	エタノール 76.9～81.4vol%
4	230mL	592 円	ベンザルコニウム塩化物 0.05w/v%
5	250mL	430 円	ベンザルコニウム塩化物 100mL 中 0.05g 含有

県や市町では、消費者の皆さんから商品についての相談や苦情を受け付けています。お近くの県民生活センター又は市町の消費生活相談窓口まで御連絡ください。

東部県民生活センター 沼津 ☎055-952-2299
 中部県民生活センター 静岡 ☎054-202-6006
 西部県民生活センター 浜松 ☎053-452-2299

★消費者ホットライン ☎188
 ※ 消費者ホットラインからお近くの市町の消費生活相談窓口へつながります。
 ※ 通話料がかかります。

なお、このパンフレットについての問合せは
 静岡県環境衛生科学研究所 医薬食品部
 〒420-8637 静岡市葵区北安東4丁目27-2
 Tel.054-245-7684 へお寄せください。
 また、過去に発行したパンフレットについては、
 当研究所のホームページ
<http://www6.shizuokanet.ne.jp/eikanctr/>
 に掲載しております。

パンフレット掲載ページ
はこちらから ⇒⇒⇒



上手に 使おう

医薬部外品

手指用ジェル



手指用のジェルが各種販売され、手洗いの代わりや感染症予防を目的に利用している消費者も多いと思われます。

手指用ジェルのうち、医薬部外品であるものは「手指消毒」、「手指・皮ふの洗浄・消毒」といった承認された効能効果が表示できます。

そこで、医薬部外品である手指用ジェルの消毒効果、有効成分濃度等を調べました。

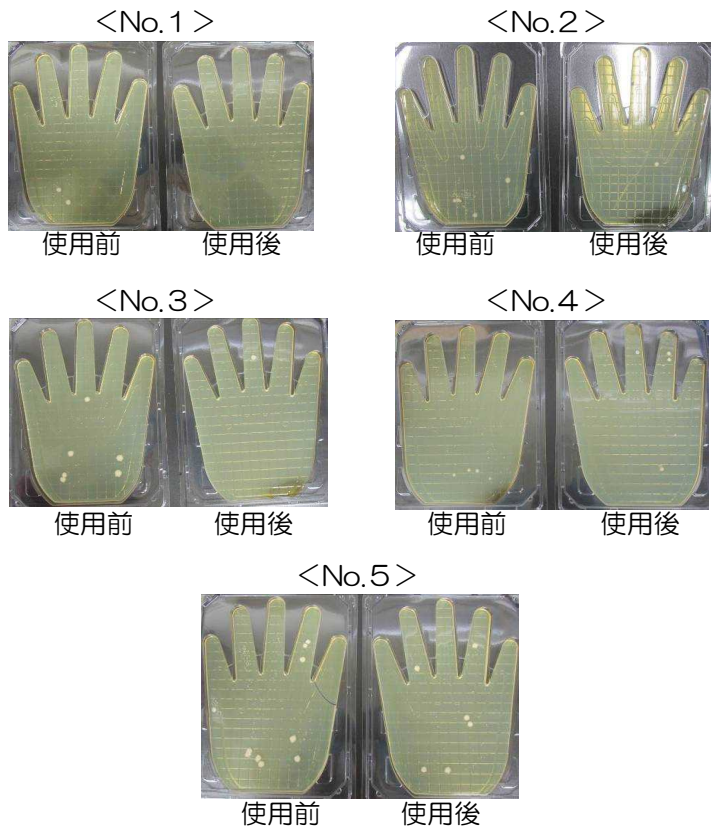
静岡県環境衛生科学研究所
県民生活局県民生活課

手指用ジェルの消毒効果を調べました

手指用ジェル使用前後の手指に付着した細菌を培養しました。下の写真の白い斑点は細菌のコロニーで、手指用ジェル使用前と比較して、使用後にコロニーが減少していれば消毒効果があるといえます。

テスター10人の手指用ジェル使用前後のコロニー数を数え、以下の式から細菌の減少率を求めました。

$$\text{減少率 (\%)} = \frac{(\text{使用前のコロニー数}) - (\text{使用後のコロニー数})}{\text{使用前のコロニー数}} \times 100$$



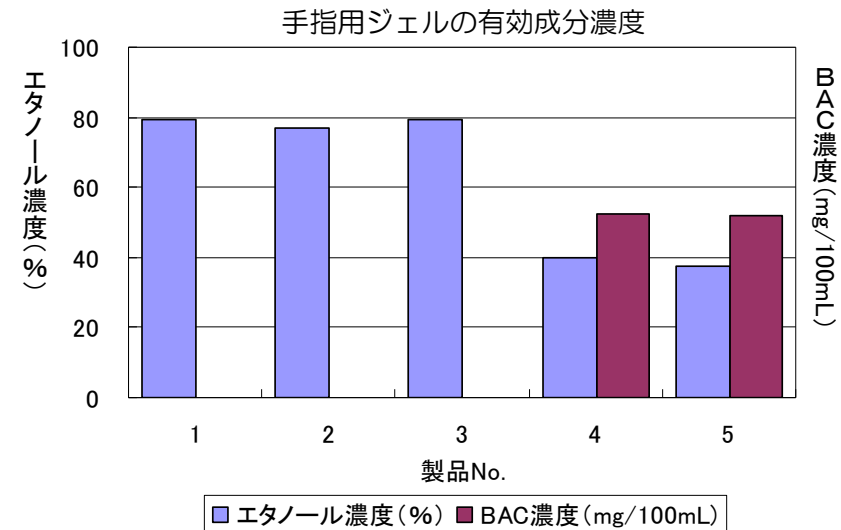
手指用ジェルの消毒効果

製品 No.	効能効果の表示	消毒効果有		消毒効果無		測定不能 人数
		人数	減少率 (%)	人数	減少率 (%)	
1	手指・皮ふの洗浄・消毒	10	94.2	0	-	0
2	手指消毒	10	89.4	0	-	0
3	手指・皮ふの洗浄・消毒	10	99.3	0	-	0
4	手指・皮膚の洗浄・消毒	5	58.5	5	-209	0
5	手指・皮膚の洗浄・消毒	6	53.6	3	-132	1

- テスター10人全員で消毒効果が認められたのは No.1~3で細菌の減少率は 89.4%~99.3%でした。
- No.4、5は製品使用時に手指に付着している細菌の種類等によって消毒効果が異なる傾向にあると考えられます。

手指用ジェルのエタノール濃度、ベンザルコニウム塩化物濃度を調べました

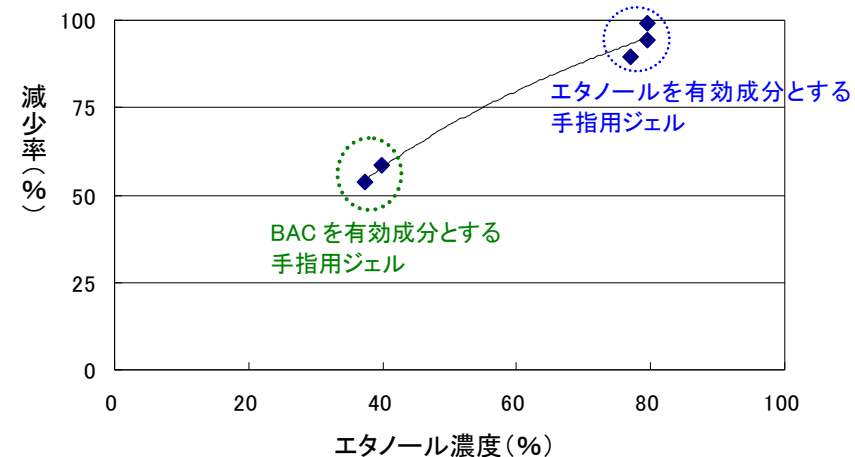
5銘柄について有効成分であるエタノールとベンザルコニウム塩化物 (BAC) の濃度を調べました。



- No.1~3はエタノールを、No.4、5はベンザルコニウム塩化物を有効成分とする製品です。エタノール濃度、ベンザルコニウム塩化物濃度を測定したところ、各製品に表示されている有効成分の濃度と一致しました。

手指用ジェルのエタノール濃度と消毒効果の関係は？

エタノール濃度と細菌減少率の関係



- 手指用ジェルに含まれるエタノールの濃度が高いほど消毒効果が高い傾向がみられました。

まとめ



- 医薬部外品である手指用ジェルには、エタノールを有効成分とする製品と、ベンザルコニウム塩化物を有効成分とする製品がありました。
- 効能効果の表示には、「手指消毒」と記載された製品が1銘柄、「手指・皮膚(皮ふ)の洗浄・消毒」と記載された製品が4銘柄でした。
- エタノール濃度、ベンザルコニウム塩化物濃度の測定の結果、有効成分については、各製品に表示された濃度と一致しました。
- No.1~3の製品は、No.4、5に比べ、より高い手指の消毒効果が認められました。
- 手洗いなどにより、手の汚れを落としたうえで使用することで、より効果が期待されます。

チョット耳より ~手指用ジェルの1回使用量~

今回試験対象とした手指用ジェルはすべての銘柄がポンプ形状の製品でした。製品に表示されている「用法・用量」には、使用量としてポンプ1回分ではなく、「適量」と記載されていました。実際に製品のポンプを1回押して、出てくるジェルの重量を測定すると 0.53g~1.59gと製品によって3倍程度の差が見られたことから、使用量は製品の表示をよく確認し調節する必要があります。

